



国土交通省
中国地方整備局 広島国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
tourism Chugoku Regional Development Bureau,
Hiroshima National Highway Office

平成26年5月1日

広島国道事務所からの
お知らせ

同時資料提供先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、
広島市市政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

東広島バイパス部分開通1ヶ月後の利用状況について

3月29日に開通した、国道2号 東広島バイパス（瀬野西IC～中野IC間の延長4.4km）の部分開通1ヶ月後の利用状況についてお知らせします。

① 東広島バイパスの利用交通量・交通の転換

- ・交通が東広島バイパスに転換したことにより、国道2号（現道）の利用交通量は約2割減少し、大型車は約4割減少しています。

◆開通前後の利用交通量

(開通前)約29,000台/日 ⇒ 国道2号（現道）:(開通後)約22,800台/日

⇒ 東広島バイパス:(開通後)約10,300台/日

- ◆断面交通量は約4,000台/日増加しています。

② 交通混雑の状況について

- ・国道2号の利用交通が東広島バイパスに転換したことにより、のろのろ運転を含め朝ピーク時にあった上り線約6kmの混雑が緩和しています。
- ・一方で、夕ピーク時に上瀬野一丁目交差点を先頭にした下り線約6kmの混雑など課題が残っています。
- ・課題に対しては、引き続きの交通状況を確認・分析しつつ、関係機関と連携して対策を検討していきます。

※今後も引き続き調査を行い、状況等について公表を予定しております。

〈問合せ先〉

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所 TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897

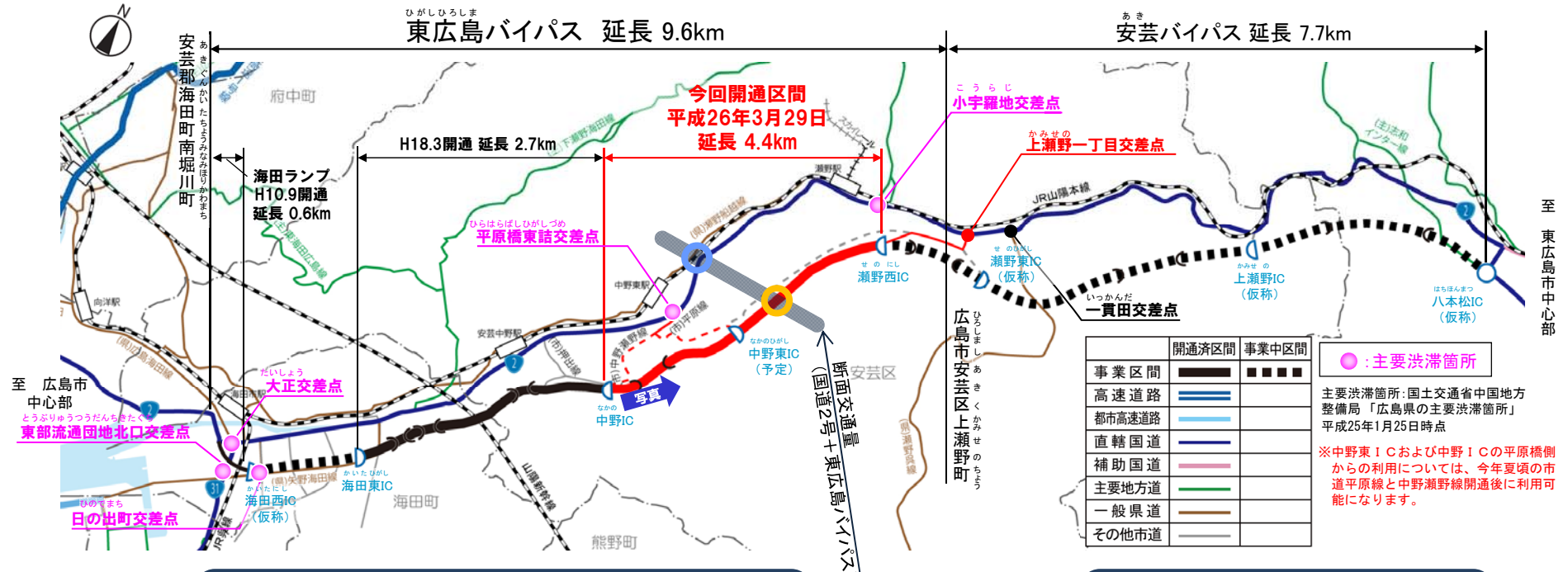
副所長 井上 和久 (いのうえ かずひさ)

【担当】計画課長 梅林 幾彦 (うめばやし いくひこ)

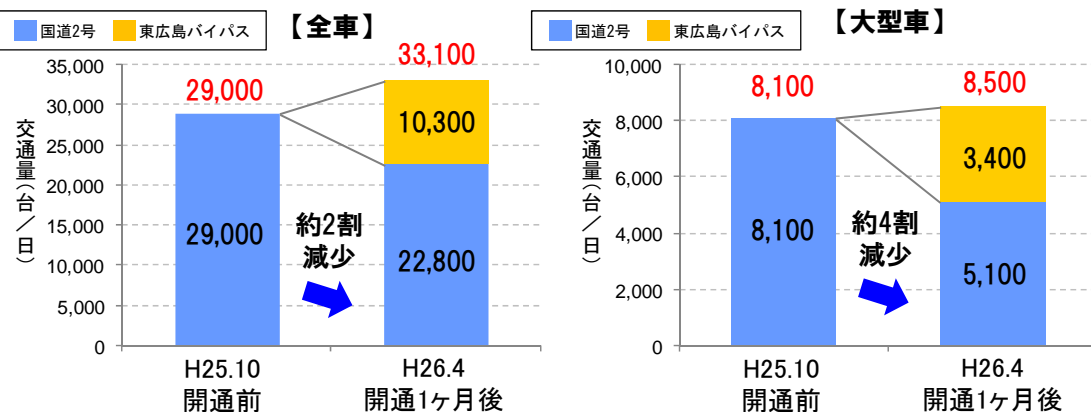
ひろこくホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

利用状況① 東広島バイパス部分開通後の利用交通量・交通の転換について

- 東広島バイパスの今回開通区間の開通1ヶ月後の利用交通量は約10,300台/日です。(断面交通量は約4,000台増加)
- 交通の転換が図られ、国道2号(現道)の利用交通量は約2割減少し、このうち大型車は約4割(約3,000台/日)減少しています。



東広島バイパスと国道2号の利用交通量(今回開通区間)



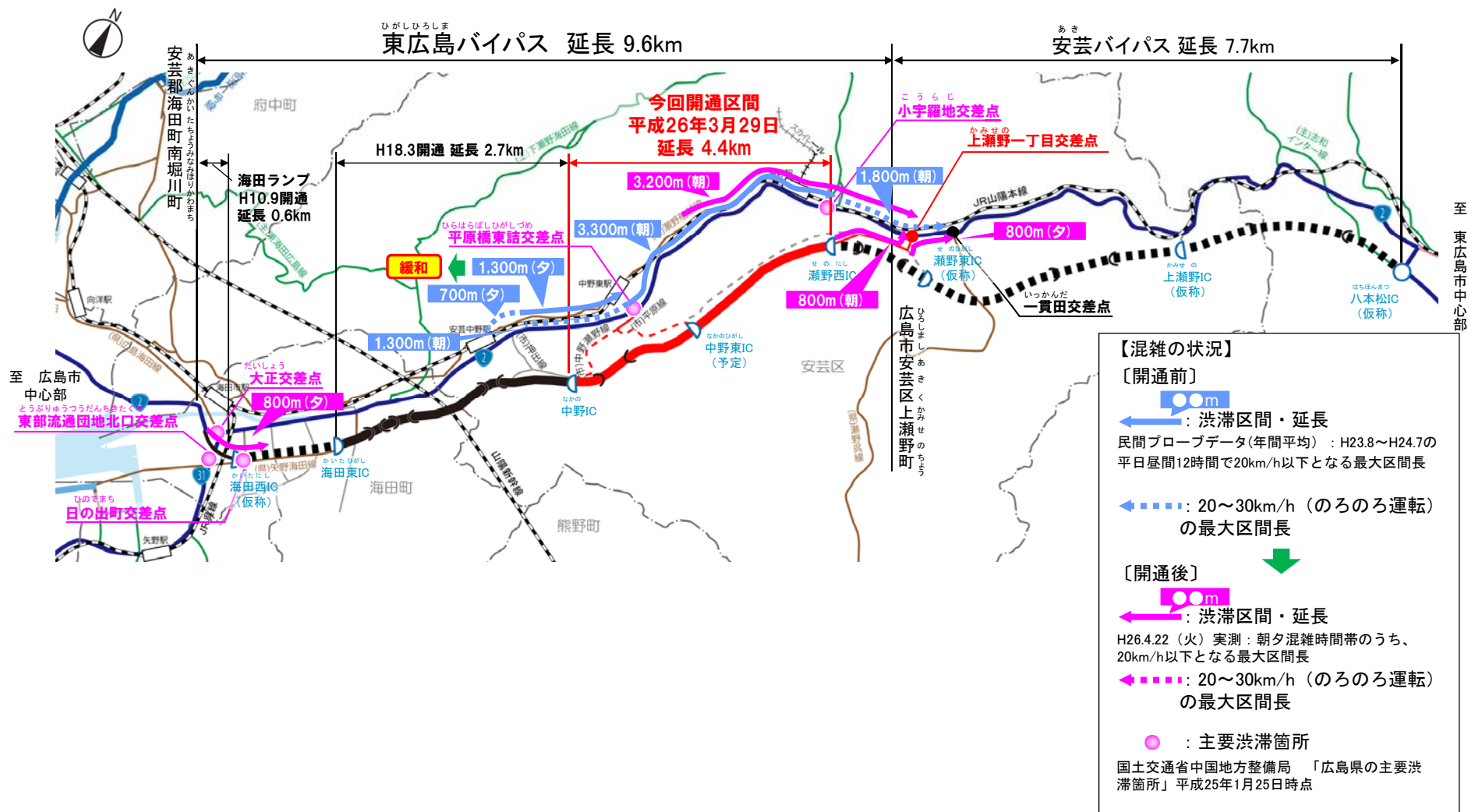
【写真】東広島バイパスの利用状況



※交通量調査結果より
 ・開通前: H25年10月22日(火)
 ・開通1ヶ月後: H26年4月14日(月)~4月23日(水)の平日の平均

利用状況② 東広島バイパス部分開通後の交通混雑の状況について（上り）

- ・国道2号の利用交通が東広島バイパスに転換したことにより、のろのろ運転を含め一貫田交差点を先頭にした約6kmの混雑(朝)が約3kmに緩和され、平原橋東詰交差点を先頭にした約2kmの混雑(夕)が緩和しました。
- ・一方で、上瀬野一丁目交差点を先頭に東広島バイパスで約1km、国道2号で約3kmの混雑など課題が残っています。
- ・引き続き、交通状況を確認・分析しつつ、上瀬野一丁目交差点を先頭にした混雑について、関係機関と連携を図りながら対策を検討していきます。



利用状況② ひがしひろしま 東広島バイパス部分開通後の交通混雑の状況について（下り）

- ・平原橋東詰交差点では、のろのろ運転を含め開通前に約5kmあった混雑(朝)が緩和され、小宇羅地交差点を先頭にした約2kmの混雑(夕)が緩和しました。
- ・一方で、上瀬野一丁目交差点を先頭に約6kmの混雑(夕)など課題が残っています。
- ・引き続き、交通状況を確認・分析しつつ、上瀬野一丁目交差点を先頭にした混雑について、関係機関と連携を図りながら対策を検討していきます。

